

令和7年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立中濃特別支援学校

学校番号	114
------	-----

自己評価

学校教育目標	児童生徒一人一人の自立や社会参加、個に応じた就労の実現を目指し、自分のよさを生かして必要な力を培い、自分らしく豊かに生きる力を育成する
--------	---

【小学部】

評価する領域・分野	「教育活動・学習指導」「保護者、地域との連携」				
現状及びアンケートの結果分析等の成果＝○ 課題＝●	<p>○「児童の実態や保護者の願いを踏まえ、共通理解を図りながら指導・支援の充実に努めた。</p> <p>○連絡帳や通信を通じて活動内容や児童の様子を詳しく伝えたことが、保護者から高く評価された。</p> <p>○地域の方や地域の学校との交流を計画的に実施でき、直接交流は児童にとって有意義であった。</p> <p>●地域交流や交流籍交流について、意図的・計画的な発信を行い、保護者・地域との相互理解をさらに深める必要がある。</p>				
昨年度からの改善方針に基づいた取組の成果と課題 成果＝○ 課題＝●	<p>○合同授業の体系を整えたことで、個に応じた指導を進めるとともに、多角的な視点で児童の実態把握・支援・安全管理ができた。</p> <p>○行事の精選によりゆとりが生まれ、児童主体の活動を充実させることができた。</p> <p>○前年度から児童の実態に応じた学習グループ編成を決定したため、新年度当初から個に応じた指導を進めることができた。</p> <p>○ 交流学习では役割分担を行い、充実した活動に取り組むことができた。</p> <p>●教科等によって、より効果的なグループ編成を検討する必要がある。</p>				
今年度の重点 (評価の視点)	個々の興味・関心に基づき、仲間と関わり合いながら集団の中で生き生きと過ごし、自信をもってできる力を育てる	A	<input checked="" type="checkbox"/> B	C	D
	・自ら挨拶し、仲間と関わり仲よく活動する	A	<input checked="" type="checkbox"/> B	C	D
	・基本的な生活習慣を身に付け、丈夫な体を作る	A	<input checked="" type="checkbox"/> B	C	D
	・様々な活動に挑戦し、自らできることを増やす	A	<input checked="" type="checkbox"/> B	C	D
総合評価					
<p>評価にあたっては以下の基準を参考とする。</p> <p>A＝十分達成した、 B＝おおむね達成した、 C＝やや不十分、 D＝不十分</p>					
来年度に向けての改善方策案	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に応じた根拠のある学習グループの編成をする。 ・実態に応じた教科書の活用、教材の工夫等個に応じた指導・支援を充実させる。 ・向山町自治会、南ヶ丘小学校等との交流を引き続き充実させ、通信等を通して発信する。 ・コーディネーター並びに生徒指導担当と連携し、指導・支援を組織的に充実させる。 				

令和7年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立中濃特別支援学校

学校番号	114
------	-----

自己評価

学校教育目標	児童生徒一人一人の自立や社会参加、個に応じた就労の実現を目指し、自分のよさを生かして必要な力を培い、自分らしく豊かに生きる力を育成する
--------	---

【中学部】

評価する領域・分野	「教育活動・学習指導」「進路指導」「保護者、地域との連携」	
現状及びアンケートの結果分析等 成果＝○ 課題＝●	○体験的な学習を通して生徒の主体性を引き出すことができるような学習を計画、実施できている。また、個別懇談や面談、電話連絡を通して保護者と密に連携を取りながら生徒の指導・支援にあたることできている。 ●生徒を肯定的に捉え、普段当たり前に行っていることを褒めたり認めたりする言葉掛けを継続し、生徒が自己肯定感を高め、更に生き生きと意欲的に学ぶことができるように取り組む必要がある。	
昨年度からの改善方針に基づいた取組の成果と課題 成果＝○ 課題＝●	○交流及び共同学習として、近隣の幼稚園、中学校や大学、行政機関などとの交流活動を行い、生徒が楽しく主体的に学ぶ姿を多く引き出すことができた。 ●生徒の実態や障がい特性、個人目標などを教員間で情報共有して指導・支援にあたることに努めたが、特に学級、学年をまたいで縦割りで行う授業において教員間での情報共有が不十分な点が見られた。	
今年度の重点 (評価の視点)	小学部（小学校）で積み上げた基礎・基本をもとに、自分のよさを生かしながら仲間と共に学び、生活することや働くことに必要な力を育てる。	
	・挨拶や自分の気持ち、考えを自分なりの方法で豊かに伝え、人と関わる力を広げる。	<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D
	・自分や周りの人の心と体を大切にでき、健康で安心安全な生活を送る。	A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D
	・自分の役割や責任を自覚し、あきらめずに最後までやりきるための基礎的な知識や技能を身に付ける。	A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D
		総合評価
評価にあたっては以下の基準を参考とする。 A＝十分達成した、 B＝おおむね達成した、 C＝やや不十分、 D＝不十分		A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D
来年度に向けての改善方策案	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒を肯定的に捉え、普段当たり前に行っていることを褒めたり認めたりする言葉掛けを行うことを随時部内で確認する。 ・引き続き地域の学校や行政機関などとの交流を積極的に行う。その際には当校の生徒が主体的に活動できるよう、活動に双方向性をもたせることに留意する。 ・縦割りの学習グループや通常学級と重複学級の担当者との情報共有の場を確実に設定し、当校の支援センターや他校のセンター的機能を活用しながら、より生徒の実態や障がい特性に応じた指導・支援方法について検討していく。 ・口腔機能の発達を促す観点からも指導・支援方法を検討していく。必要に応じて言語聴覚士や摂食指導のコアティーチャー等との連携も図っていけるとよい。 	

令和7年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立中濃特別支援学校

学校番号	114
------	-----

自己評価

学校教育目標	児童生徒一人一人の自立や社会参加、個に応じた就労の実現を目指し、自分のよさを生かして必要な力を培い、自分らしく豊かに生きる力を育成する
--------	---

【高等部】

評価する領域・分野	「教育活動・学習指導」「進路指導」「保護者、地域との連携」「情報提供」	
現状及びアンケートの結果分析等 成果＝○ 課題＝●	<p>○個別懇談を通じて高等部の目標および方針を保護者へ伝えることができた。また学年通信で各活動における指導方針や生徒の活躍を発信し、方針の浸透を図れた。</p> <p>○生徒への指導・支援方法について、職員間で積極的にコミュニケーションをとり、情報共有、共通理解、生徒の指導改善に協力して取り組むことができた。</p> <p>●問題が発生した時に職員一人で抱え込むことがないよう、報告・連絡・相談を徹底する。</p>	
昨年度からの改善方針に基づいた取組の成果と課題 成果＝○ 課題＝●	<p>○地域との共同学習、人材資源活用について課題であったが、今年度より関特別支援学校・関商工高等学校との共同学習推進事業として、藍染め体験を中心とした交流を実施できた。</p> <p>○向山町自治会の方々と作業学習での交流を実施できた。特に布加工班のミシン共同作業では、縫い方指導をして頂き、生徒の技術向上、作業製品の品質向上に繋がった。</p> <p>○関市ふくし共育推進事業として、車いすバスケット体験交流、防災学習など地域の方々と連携した学習活動が実施できた。</p> <p>○各活動の情報発信に課題があったため、学年通信やホームページを通じて、保護者に活動の成果を分かりやすく伝えられるよう、写真を多く掲載するなど工夫して公開した。</p> <p>●一過性で終わる交流、連携活動がないよう、継続的、発展的な交流計画を立てる。</p>	
今年度の重点 (評価の視点)	・進んで挨拶ややり取りをし、状況に応じた言葉遣いができ、望ましい人間関係を広げる	A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/>
	・健康で安心安全な生活に必要な知識と技能を身に付け、自らの健康管理に生かす	A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/>
	・自らの社会的役割、主権者としての自覚をもち、責任ある行動ができ、社会生活に必要な知識と技能を身に付け、仲間と協力してやり遂げようとする	A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/>
		総合評価
評価にあたっては以下の基準を参考とする。 A＝十分達成した、 B＝おおむね達成した、 C＝やや不十分、 D＝不十分		A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/>
来年度に向けての改善方策案	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との交流活動の継続と発展を通じた特色ある教育活動の充実 ・生徒の健康管理促進を目標に、養護教諭や栄養教諭と連携した授業の計画、実施 ・組織的、計画的に教育活動を進めるための高等部体制づくり ・各学年の具体的反省をもとにした業務改善の実施 	

令和7年度 自己評価・学校関係者評価 報告書
岐阜県立中濃特別支援学校

自己評価

学校番号	114
------	-----

学校教育目標	児童生徒一人一人の自立や社会参加、個に応じた就労の実現を目指し、自分のよさを生かして必要な力を培い、自分らしく豊かに生きる力を育成する
--------	---

【教務部】

評価する領域・分野	「教育活動・学習指導」「保護者、地域との連携」「情報提供」	
現状及びアンケートの結果分析等 成果=○ 課題=●	<ul style="list-style-type: none"> ○個別の指導計画を活用し、児童生徒の成果や課題を保護者と共通理解できた。 ○児童生徒の活動の様子を計画的にホームページに掲載して情報発信をした。 ●ホームページを分析し、効果的な情報発信について検討する。 ●ホームページでの情報発信のタイミングについて、活動終了後速やかに更新する。 	
昨年度からの改善方策に基づいた取組の成果と課題 成果=○ 課題=●	<ul style="list-style-type: none"> ○教科領域会の実施回数を2回に増やした。また、他学部の取組を踏まえて担当する部・学年の児童生徒が身に付ける段階について考えることができた。 ○ホームページを見やすくするため、記事のタイトルやカテゴリ表示のルールを設けた。 ○学校祭について、全校スローガンの共同制作や全校決起集会など、児童生徒が部を越え学校全体で取り組むことができた。 ●教科領域会などを活用し、部内における学習段階について見直したい。 ●ホームページ作成において、記事のタイトルやカテゴリごとの表示方法が徹底できなかった。また、当該業務の配置職員が少なく負担が偏った。 ●学校祭では、準備期間が十分になかったので全校体制で実施することが難しかった。 	
今年度の重点 (評価の観点)	・児童生徒の「つきたい力」を明確にし、単元や各授業の目標とその達成状況の把握に努める。	A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/>
	・行事や部集会などの集団活動において、児童生徒同士が学年及び部をまたいで意欲的に取り組めるように環境を設定する。	A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/>
	・見通しをもった教育活動の計画及び実施に向け、年間スケジュールの提示や随時、適時の情報発信を行う。	A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/>
	・学年や発達段階に応じて、系統性のある指導・支援体制を充実させるための準備を進める。	A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/>
		総合評価
評価にあたっては以下の基準を参考とする。 A=十分達成した、 B=おおむね達成した、 C=やや不十分、 D=不十分		A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/>
来年度に向けての改善方策案	<ul style="list-style-type: none"> ・学校祭を全校体制で行うことについて実施の検討を進める。 ・各教科及び合わせた指導のねらいを踏まえた効果的な取組をするに当たり、令和7年度からの教育課程の変更について職員への周知を図る。 ・個別の指導計画の様式変更や教科領域会による学習段階の意見交換を踏まえたうえでの指導と評価の年間計画の作成について、学習段階の見直しや、キャリアパスポート・性教育・食育・防災教育・地域交流などの重点的な取組を明確に位置付けることについて、研修支援部の取組と連携して進められるようにする。 ・ホームページ作成において、表示方法のルールマニュアルを作成する。また、少数の担当者に業務が偏らないよう、情報業務を行うことができる人材を増やす。 ・毎年参加している中部学院大学の「たのしみん祭」は、近年作業製品の販売のみを行っている。次年度は進路支援部及び高等部で対応することを相談・検討していきたい。 	

令和7年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立中濃特別支援学校

学校番号	114
------	-----

自己評価

学校教育目標	児童生徒一人一人の自立や社会参加、個に応じた就労の実現を目指し、自分のよさを生かして必要な力を培い、自分らしく豊かに生きる力を育成する
--------	---

【研修支援部】

評価する領域・分野	「教育活動・学習指導」「研修（資質向上の取組）」「教育目標・学校評価」「保護者、地域との連携」	
現状及びアンケートの結果分析等 成果＝○ 課題＝●	<p>○外部評価の結果から、「教育活動・学習指導」については概ね高評価を得た。ねらいを明確にした支援方法や児童生徒のよさを認め、個々の教育的ニーズに応じた指導の工夫に対して保護者に一定の理解を得られていると考える。</p> <p>○教職員のニーズ及び当校の課題等を加味した研修を精選して提供した。</p> <p>○本人及び保護者のニーズに基づき、日時や交流形態、交流内容を相手校と連携し交流籍交流に取り組んでいる。</p> <p>●個別の教育支援計画に基づいた目標や評価を懇談等で保護者と合意形成ができるよう、担当者から各担任に対してTeamsで計画的に周知を図っていく。</p> <p>●交流籍交流の「オンライン交流」について、事前に相手校との接続の調整や授業時間に抽出して実施を行うなど、準備や活動の時間を工面する担当教員の負担が大きい。</p>	
昨年度からの改善方策に基づいた取組の成果と課題 成果＝○ 課題＝●	<p>○各学年で参観調整を事前にすることで、公開授業の参観率を大幅に上げることができた。</p> <p>○今年度より全校午前日課での「研修の日」を設定し、教職員がゆとりをもって研修に臨むことができる体制をつくった。</p> <p>○年度当初に個別の教育支援計画の年間スケジュールを示すことで、見直しをもって作成や評価を行うことができた。</p> <p>○各部からコーディネーターを1名選出し、外部の相談支援や研究会の講師なども担当することができた。</p> <p>●個別の教育支援計画作成における懇談時での確認事項や合意形成を図る上で大事にした点等を担任に事前に伝え、より良い話し合いに繋げる。また、目標に対する手立ての見直しを定期的に保護者と図る。</p>	
今年度の重点 (評価の視点)	・シート2「授業づくり改善シート」を活用し、授業改善を図る。	A B C D
	・付けたい力を明確にした自立活動の年間指導計画を作成する。	A B C D
	・シート3の項目の中に目標設定や自己評価・他己評価の工夫を明記し、公開授業を通して重点目標に迫った実践を行う。	A B C D
		総合評価
評価にあたっては以下の基準を参考とする。 A＝十分達成した、 B＝おおむね達成した、 C＝やや不十分、 D＝不十分		A B C D
来年度に向けての改善方策案	<p>・主題研究のねらいを明確にした上で、具体的な取組については、各部の課題に沿った内容で研究を実践していく。学び合いを深める時間として来年度木曜日6校時を「研究の日」としても活用をし、全職員で組織的に研究を進めていく。</p> <p>・校内の困りごとや相談に対して部主事や生活支援部と連携し、コーディネーターが関わっていける校内支援体制を構築する。</p> <p>・交流籍交流の「オンライン交流」については、目的や効果を懇談で保護者に伝え、理解を図る。また、接続テスト等の情報機器の不安を学習情報係に依頼して解消したり、活動例をいくつか挙げて実施の仕方を柔軟に捉えたりできるよう明示していく。</p> <p>・個別の教育支援計画の作成や活用について事例を挙げて紹介を行い、保護者と定期的に支援を見直し、修正・追記を図りながら共により良いものに形作っていく。</p>	

令和7年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立中濃特別支援学校

学校番号	114
------	-----

自己評価

学校教育目標	児童生徒一人一人の自立や社会参加、個に応じた就労の実現を目指し、自分のよさを生かして必要な力を培い、自分らしく豊かに生きる力を育成する
--------	---

【生活支援部】

評価する領域・分野	「生徒指導（教育相談）」「特別活動」「安全管理」「組織運営」「保護者、地域との連携」「情報提供」	
現状及びアンケートの結果分析等 成果＝○ 課題＝●	○問題行動のあった生徒に対して、スクールカウンセラーにつなぎ、再発防止に向けて取り組んだ。来年度も継続する。 ●PTA総会や懇談等を活用して、いじめ防止対策のみならず、体罰ゼロの取組を丁寧に伝える。 ●スクールバスにおける個人情報保護について保護者からご指摘を受けた。今後は、職員間のダブルチェックも含め、個人情報管理を徹底していく。	
昨年度からの改善方策に基づいた取組の成果と課題 成果＝○ 課題＝●	○組織的に問題行動を未然防止するために、随時各部主事と情報共有を図ることができた。また、分掌内での児童生徒の情報共有もできてきた。 ○児童生徒会中心の学校祭運営を目指し活動することができた。 ●教育相談の一層の充実を図るために、教育相談の年間計画や相談体制、取り組み内容等を、PTA総会や通信、ホームページ等で周知していく。 ●児童生徒会の各部の負担が偏らないように、他の活動を含め役割分担を明確にする必要がある。	
今年度の重点 (評価の視点)	・部集会や児童生徒会、高等部生徒会の活動を通して自主的、実践的な態度を育てる。	A <input type="checkbox"/> B <input checked="" type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/>
	・部活動を通して、余暇活動の充実と望ましい人間関係の育成を図る。	A <input type="checkbox"/> B <input checked="" type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/>
	・保護者、添乗員、職員が連携し、安全な登下校の支援や環境整備に努める。	A <input type="checkbox"/> B <input checked="" type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/>
	・部を越えた校内交流や外部との交流活動を通して、望ましい人間関係を学び、コミュニケーション力の向上を図る。	<input checked="" type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/>
	総合評価	
評価にあたっては以下の基準を参考とする。 A＝十分達成した、 B＝おおむね達成した、 C＝やや不十分、 D＝不十分	A <input type="checkbox"/> B <input checked="" type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/>	
来年度に向けての改善方策案	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒会活動を運営する委員会活動の計画的な実施、MSリーダーズ活動の拡充等とおして、児童生徒の自主的実践的な活躍を目指す。 ・PTA総会や個別懇談、各種通信等を活用していじめ防止対策や体罰ゼロの取組について、保護者に適切に周知する。 ・登下校に関して、保護者、地域等からご指摘を頂いた際は、迅速かつ適切に対応する。また組織として対応できる仕組みを整え、職員間で共通理解していく。 ・部活動が生徒にとって成長の糧となるよう、中長期的な方向性をもって活動する。 ・支援センターと連携し、児童生徒への適切な支援を行っていく。 	

令和7年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立中濃特別支援学校

学校番号 114

自己評価

学校教育目標	児童生徒一人一人の自立や社会参加、個に応じた就労の実現を目指し、自分のよさを生かして必要な力を培い、自分らしく豊かに生きる力を育成する
--------	---

【進路支援部】

評価する領域・分野	「進路指導」「保護者、地域との連携」	
現状及びアンケートの結果分析等 成果＝○ 課題＝●	<p>○障がい福祉サービス事業所説明会や年金セミナー等、全校児童生徒、保護者に文書やすぐるで案内したことで、高等部のみならず、他学部の保護者の参加もあった。</p> <p>○地域の福祉事業所や企業、ハローワークや障害者就業・生活支援センター等、関係機関と連携を図りながら支援したことで、高等部卒業後の進路を円滑に決めることができた。</p> <p>○企業や福祉事業所向けの学校見学会や職場実習見学を実施したことで、高等部生徒の実習受け入れ先や就職先が拡大した。</p> <p>●進路だよりの内容を見直したり、ホームページでの情報発信をより積極的に行ったりして、進路に関する取組の周知を図る。</p>	
昨年度からの改善方針に基づいた取組の成果と課題 成果＝○ 課題＝●	<p>○ポートフォリオ型のキャリアパスポートの取組を開始し、児童生徒のキャリア発達の経過を蓄積できるようにした。</p> <p>○小・中学部の児童生徒数が減少した中、進路に関わる行事の案内を積極的に行ったことで、障がい福祉サービス事業所説明会や職場実習報告会等には、一定数の参加があった。</p> <p>●キャリアパスポートの作成方法や保護者への提示方法について、年度当初の説明だけでなく、部会などで定期的に連絡し、取組をより充実させる必要がある。</p>	
今年度の重点 (評価の視点)	・地域の事業所や関係機関を活用し、児童生徒が自らの進路や社会生活について考えたり、知識や技能を身に付けたりできるように努める。	A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/>
	・児童生徒一人ひとりが集団活動の中で役割をもち、「誰かの役に立つ」経験ができるような環境づくりに努める。	A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/>
	・発育や発達に応じたキャリア教育実践に向けて、家庭及び地域や福祉、労働等関係機関との連携を十分に図る。	A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/>
	・児童生徒が自らのキャリア発達を感じられるように、キャリアパスポートを活用した授業実践の充実を図る。	A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/>
	総合評価	
評価にあたっては以下の基準を参考とする。 A＝十分達成した、 B＝おおむね達成した、 C＝やや不十分、 D＝不十分	A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/>	
来年度に向けての改善方策案	<p>・学校が主催している取組の実施方法や役割分担を検討し、関係機関との連携を深める。</p> <p>・進路研修会や進路講演会等の案内方法を検討し、参加者を増加させる。</p> <p>・情報担当者の業務内容を明確化し、積極的に情報発信する。</p> <p>・キャリアパスポートの実施方法の校内外への周知と取組の充実を図る。</p>	

令和7年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立中濃特別支援学校

学校番号	114
------	-----

自己評価

学校教育目標	児童生徒一人一人の自立や社会参加、個に応じた就労の実現を目指し、自分のよさを生かして必要な力を培い、自分らしく豊かに生きる力を育成する
--------	---

【健康安全部】

評価する領域・分野	「保健管理」「安全管理」「保護者、地域との連携」「教育環境整備」	
現状及びアンケートの結果分析等 成果＝○ 課題＝●	○熱中症対策としてWBGTを計測し、安心安全な教育活動の見定めを行った。 ○「学習活動におけるアレルギー等の対応」で保護者とのやりとりを整理して、安心安全な食の提供に繋げた。 ●担任が児童生徒の非常食の内容の把握が不十分だった。	
昨年度からの改善方策に基づいた取組の成果と課題 成果＝○ 課題＝●	○職員作業に山の整備を組み込むことで、登山道の現状把握を学校全体で深めることができた。また、組織的に対応できる体制が整えられた。 ○令和8年度に帰宅確認訓練を関特別支援学校と同日に実施する見込みとなった。 ●職員で対応できない範囲の山の整備の進め方を検討する必要がある。 ●災害時を想定して、近隣の大学、高校、小学校との訓練の連携も考えたい。	
今年度の重点 (評価の視点)	・主体的に感染対策に努めたり、清掃活動に取り組んだりする習慣を育成する。	A <input checked="" type="checkbox"/> B C D
	・身に付けた発災時の対応能力を発揮することができる防災訓練を設定する。	A <input checked="" type="checkbox"/> B C D
	・児童生徒が自他の安全を守るために、保健教育、食に関する指導、防災教育、環境整備を充実させる。	A <input checked="" type="checkbox"/> B C D
	・健やかな心身の育成のため、性教育を小学部から高等部まで系統的に進める。	A <input checked="" type="checkbox"/> B C D
		総合評価
評価にあたっては以下の基準を参考とする。 A＝十分達成した、 B＝おおむね達成した、 C＝やや不十分、 D＝不十分		A <input checked="" type="checkbox"/> B C D
来年度に向けての改善方策案	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会等の熱中症対策の在り方（ミスト設置等）を今年度中に決めておく。 ・性教育を活性化するために、プログラムの周知や改善を進め、年間計画に位置付ける。 ・非常食の内容の確認を年度初めの懇談に位置付け、保護者と担任で共通理解を行う。 ・粗大ごみや不燃物の処分方法や時期を明確にする。 	

令和7年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立中濃特別支援学校

学校番号	114
------	-----

自己評価

学校教育目標	児童生徒一人一人の自立や社会参加、個に応じた就労の実現を目指し、自分のよさを生かして必要な力を培い、自分らしく豊かに生きる力を育成する
--------	---

【渉外部】

評価する領域・分野	「教育活動・学習指導」「保護者、地域との連携」	
現状及びアンケートの結果分析等 成果＝○ 課題＝●	<p>○広報「ゆめ新聞」での教育活動の紹介をすることや、地域金融機関での校外作品展の際にQRコードから学校ホームページが閲覧できるように周知することにより、当校の保護者や地域の方へ、教育活動を知らせる機会を作った。</p> <p>●地域の方への理解啓発に結び付くように、校外作品展示の開催会場や回数も含めて、さらに検討していく。</p> <p>●広報「ゆめ新聞」は、PTA発行としているものの、実際には、編集作業に保護者は関わらず、教師の手による発行になっていることと、教育活動を学年通信やホームページも十分に広報している現状から、発行業務は取りやめる。年度初めの職員紹介については、業者を通さず渉外部から発行する。</p>	
昨年度からの改善方策に基づいた取組の成果と課題 成果＝○ 課題＝●	<p>○自宅でのベルマーク集計活動を依頼したことで、のべ90人の保護者の参加があった。保護者間の交流もあり、負担なく気軽に参加してもらえた。</p> <p>○ボランティアによるPTA活動の推進や、PTA事業の運営や校内外の会議への参加を役割分担することで、引き続きPTA活動を継続していく。</p>	
今年度の重点 (評価の視点)	・「できる人が、できる時に、できることをする」の考えのもと、保護者のボランティアによるPTA活動を推進する。	A B C D
	・家庭での支援の参考にできるように、防災や性教育の研修の補佐をする。	A B C D
	・地域の公共施設で作品展示を行い、本校の教育活動への理解を啓発する。	A B C D
		総合評価
評価にあたっては以下の基準を参考とする。 A＝十分達成した、 B＝おおむね達成した、 C＝やや不十分、 D＝不十分		A B C D
来年度に向けての改善方策案	<p>・PTA事業の内容や方法、開催時間などを見直して、参加者が増えるように工夫をする。</p> <p>・地域の金融機関や交流校等で校外作品展示会を行い、寄せられた感想等を児童生徒に返すことで、学習への意欲や満足感につながるようにしていく。</p> <p>・岐阜県特別支援教育推進連盟の事務局業務を分掌内で共有し複数職員で分担する。</p> <p>・向山町自治会との学校ボランティアについて、令和8年度からは渉外部が窓口となり進めていく。</p>	

令和7年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立中濃特別支援学校

学校番号	114
------	-----

学校関係者評価 (令和8年2月25日実施)

意見・要望・評価等

- ・小学部の縦割り活動や小中高等部の交流活動が発展しており、児童生徒・地域双方によい効果が生まれている。交流機会を多く設けていることは高く評価できる。
- ・学校ボランティアとしての活動を楽しむ声も多く、今後は参加者の増加や質的向上が期待できる。
- ・全職員研修や教育活動の情報発信の工夫など、校内の組織的な取組も充実している。
- ・学校とPTAおよび地域の関わり方の変化を踏まえ、無理なく参加できる仕組みづくりや保護者同士の交流の場の必要性を確認できた。